



録画配信の
2次元コード

広島 清志
公明党

市民の重要なインフラ「下水道」の維持と今後について

Q 耐用年数を経過した下水管路の対応は

A 上下水道部長 「狭山市下水道ストックマネジメント計画」に基づき、潜行目視調査やテレビカメラ調査により管路の腐食等の状況を確認し、対策が必要な箇所について修繕や改築工事を行っている。

Q 下水道管渠老朽化率の今後の見通しは

A 上下水道部長 公共下水道の污水管と雨水管を合わせ令和7年度末、総延長約542kmに対する老朽化率は、約14%、10年後の老朽化率は約36%、20年後は約70%を見込んでいます。

Q 使用料維持のための取り組みは

A 上下水道部長 経常的経費の削減や建設コストの縮減、定員管理の適正化などを通じて経営合理化を図り、経費の削減に取り組んでいる。今後も、下水道使用料の値上げをできる限り抑制しながら、安定した下水道サービスの提供に努めていく。

Q 持続可能な下水道事業として値上げに対する考え方は

A 上下水道部長 現在、下水道使用料は、基本使用料が約30%、従量使用料が約70%の構成。今後下水道事業の経営の安定化を図るためには、固定的に発生する経費を安定的に回収できる料金体系とする必要があるため、基本使用料の割合を段階的に引き上げていくこととした。なお、使用者の経済的負担への影響に配慮し、今回平均改定率は9.86%とした。



録画配信の
2次元コード

丸橋 ユキ
光と風

なぜ少ない？ 市の女性管理職働き方と家庭負担の構造を見る

◆女性登用の促進は「誰もが」働きやすい環境をつくること

Q 女性が家庭と仕事を「両立する」ことを前提とするのではなく、管理職の働き方を男女を問わず持続可能なものにすることがあると考えるが、認識は

A 総務部長 管理職の働き方の改善は男女を問わず重要であり、DX等により業務の効率化を進めていく。

◆同質性の高い組織では、多様な意見が出にくく、判断に偏りが生じやすい

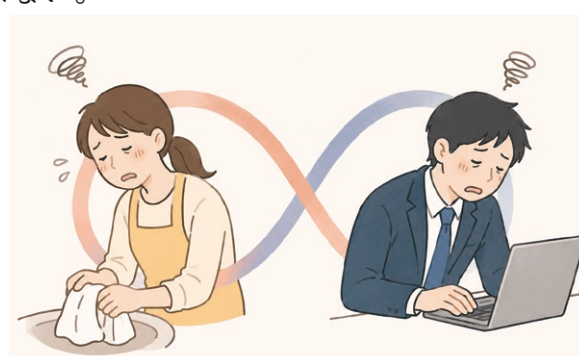
Q 多様な背景を持つ職員の増加が、組織運営や行政サービスに与える影響は

A 総務部長 多様な背景を持つ職員の増加は、意思決定における議論の多角化や職場の安心感の醸成につながるほか、市民ニーズにのり的確に対応できるなど、行政サービスの質の向上に資するものと認識している。

◆DEI(多様性・公平性・包括性)はガバナンスの課題として組織横断的に取り組むべき

Q 人事や働き方などを含め、ジェンダー平等や多様性を横断的に推進する体制はあるか

A 総務部長 現在、横断的に統括する部署はない。



表裏一体のジェンダー構造